

市の将来像に向け力強く前進

市議会第1回定例会は、2月17日から3月18日まで開かれ、議会初日に、佐々木孝弘市長が令和4年度の施政方針を述べました。主な施策と主要事業の概要の一部を抜粋し、第2次八幡平市総合計画基本構想に掲げる5つの基本目標に沿って紹介します。

はじめに

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症は再び感染が拡大しており、予断を許さない状況が続いています。市民の皆さんの安心な暮らしのため、3回目のワクチン接種に引き続き力を入れていくとともに、コロナ後を見据えた対策を講じていきます。

4年度は、市政運営の基本となる第2次八幡平市総合計画後期基本計画の2年目です。計画に公約を盛り込むとともに、市民の皆さんの声にしっかりと耳を傾けながら、さらなる子育て支援や福祉の充実、農業

振興、観光振興などの施策に積極的に取り組む、「ともに暮らし、幸せを感じる八幡平市」の実現を目指し、市民福祉の向上に努めていきます。また、これらの取り組みを通じて、SDGsの理念を踏まえたまちづくりを推進していきます。

1 未来への希望にもえるまちづくり

▼移住定住促進

コロナ禍で都市部から地方への移住希望者が増加していることから、移住相談の機会を増やし、より積極的な情報発信を行うとともに、移住相談センターの設置に向けて

検討していきます。

▼地域おこし協力隊

引き続き活動する3人と新たに任用する予定の1人の隊員の活動を支援していきます。また、最長2カ月滞在し、地域おこし協力隊と同様に活動することにより、本市への移住を具体的に検討することができるようインターン制度を新たに導入していきます。

▼子育て支援

現在2人目から5万円を支給している出産祝金を1人目から50万円に拡充し、出生時からの育児費用など経済的な負担軽減を図っていきます。また、保育所副食費の助成や保育料の軽減を継続し、私立保育園などと連携して引き続き待機児童の解消に努め、子育てし

やすい環境整備を図っていきます。

2 ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり

▼水田活用

県の奨励品種「銀河のしずく」などの良質米の生産に向けて技術的な支援などを進めていきます。また、飼料用米や高収益野菜などへの転換を促し、農家所得の向上に取り組んでいきます。

▼園芸振興

ホウレンソウなどの振興作物の生産性向上と高品質化に向けた施策を推進していきます。また、市内の産直施設と連携を密にし、地産地消

の取り組みを推進していきます。

▼花き振興

八重咲リンドウの切花栽培の実証試験や栽培方法の確立を目指し、生産者の収益向上のため株もちが良く病気に強いリンドウの開発に引き続き努めていきます。また、ルワンダ共和国での組織培養苗生産事業の支援をし、海外での「安代りんどう」の販売数量の拡大とブランド力向上に努めていきます。

▼畜産振興

乳用牛や肉用牛の生産基盤強化のため、9月の開所を予定する繁殖育成センターや市営牧野の適正な運営に努めていきます。

▼農村振興

3年度から面的工事に着手した県

営農業農村整備事業「後藤川地区ほ場整備事業」の適切な事業進捗に協力していきます。

▼観光振興

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により激減した国内外の観光客の回復に努めていきます。少人数による体験を重視した旅行の市場開拓のほか、教育旅行や団体旅行の誘客も進めていきます。また、文化・歴史・食材などの地元の魅力を踏まえた情報の発信により、海外旅行代理店などとの連携を強め、これまで多くの人が訪れたアジア圏の旅行者の回復と、オーストラリアや欧米の市場開拓を進めていきます。

▼工業振興

設備投資と雇用の拡大に取り組む

事業者を支援する他、新規誘致のための立地促進に取り組んでいきます。

▼起業志民プロジェクト

市内起業者と連携して、ICTを活用した医療や福祉などの地域課題を解決する仕組みづくりをする他、事業拡大に必要となる人材育成に取り組む、次世代の成長産業を創出していきます。

▼企業の人材確保対策

採用や育成などの課題を持つ地場企業の支援体制の確立に努めていきます。

▼商業振興

市商工会と連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症に対応した支援に努め、各種事業を継続することで、地元商店街の活性化や消費拡



初出荷した新品种の八重咲きリンドウ「あしろブルー」(左からマリン、アクア、ロゼ)



上坊牧野付近に建設中の牛の繁殖育成センターは、9月開所を予定(3年9月28日)



田山診療所の患者と市立病院の医師をオンラインで結ぶ遠隔地診療が開始(3年1月25日)



大更駅西口駅前広場のロータリーが一部運用開始。4年度は引き続き案内看板などを整備予定



新型コロナウイルスのワクチン追加接種と小児への接種が始まる

3 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり

▼感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大防止

大を推進していきます。また、(仮称)大更駅前顔づくり施設は、図書館や子育て支援施設、にぎわい創出などの機能を持つ複合施設として実施設計を進めていきます。

▼林業振興

森林施策を実施する森林所有者への支援や林業新規就業者支援を継続していきます。また、森林環境譲与税を効果的に活用し、森林の適正管理と林業の健全経営を推進していきます。

対策を引き続き呼び掛けながら、市民へのワクチン接種を的確かつ迅速に進めていきます。また、H P V ワクチンの定期接種対象者への周知をするともに、6年度まで延長された風しんの抗体検査・予防接種対象者に対し、順次クーポン券の送付を行っているいきます。

▼敬老事業

高齢者の長寿を祝い、地域住民の敬老意識や高齢者の生きがいを高めるため、敬老事業を実施する地域団体に対して支援制度を周知し、事業の推進に努めていきます。

▼介護予防

高齢者が元気で生き生きと生活するために、食事や運動、交流をはじめとした活動の重要性の周知を図り、健康寿命延伸に向けた取り組みを継続していきます。

▼成年後見制度

権利擁護の必要な人に対し、適切な支援につなげるための中核的な機関となる市成年後見センターで制度の普及啓発や利用促進、関係機関との連携強化を図っていきます。

▼市立病院

安代診療所・田山診療所と連携しながら診療体制の充実を図るとともに、12床に拡充した人工透析用ベッドの本格運用を図るなど、変化

する医療環境や求められる医療ニーズに迅速かつ柔軟に対応していきます。

▼教育研究所

市内小中学校教職員の研究と修養の充実を図り、資質の向上に励むとともに、児童生徒の学力保障や英語力の向上、国際理解などの課題の解決に向けて、先進的な実践研究に取り組んでいきます。

▼生涯学習事業

各コミュニティセンターや関係団体と連携を図りながら、市民への学習機会の提供に努めていきます。

▼芸術文化

関係団体と連携を図りながら、芸術祭などを通じて振興を図っていきます。

▼日本遺産に認定された安比川流域の漆文化

2年度から本市と二戸市が共同で運営する日本遺産「奥南部漆物語」推進協議会の事業を推進し、誘客による人の交流と地域経済の活性化とともに、地域に対する愛着と誇りを醸成し、活気溢れる広域的地域づくりを図っていきます。

▼スポーツ活動の推進

市体育協会や関係団体と連携し、市民が幅広くスポーツに親しむ機会としてスポーツ大会やスポーツ教室

まちづくりの目標を支える 社会基盤整備と行政経営方針

▼ハロウィンターナショナルスクール

8月開校予定のハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンと本市の間で連携協定を締結し、地域振興や国際交流などの取り組みを推進していきます。

▼スマートインターチェンジ

(仮称)八幡平スマートインターチェンジ整備事業は昨年8月に国による準備段階調査に着手し、関係機関と協

の開催に努めるとともに、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて支援していきます。また、来年2月に開催される特別国民体育大会スキー競技会の成功に向けて準備を進めていきます。

4 自然をはぐくみ、 景観にすぐれたまちづくり

▼環境衛生

第2次八幡平市環境基本計画に基づき、具体的な施策を実施して

議を重ねています。早期に新規事業化が図られるよう推進していきます。

▼都市計画

大更駅前線沿道整備土地区画整理事業を継続して進めていきます。

▼地域公共交通

広域生活路線バスの運行を維持していくため、交通弱者の移動手段を確保できるような総合交通ネットワークの構築を検討していきます。

▼道路整備

市道鴨志田線や市道森合線などの整備を継続して進めていきます。

▼道路維持

随時、道路補修を行うとともに、法定点検の結果に基づいて橋りょう補修をしていきます。

▼除雪対策

除雪車両を更新し、各地区の実情に応じた除雪をしていきます。

▼市営住宅

長寿命化計画に基づき良好な住環境を確保していきます。

▼下水道事業

公共下水道事業の管渠整備を継続するとともに、下水道施設の更新計画を策定していきます。また、農業集落排水施設の延命化と機能修繕を進めていきます。

▼防災

関係機関や消防団との連携強化を

5年2月に開かれる特別国民体育大会スキー競技会に向け、4年度に整備を進める矢神飛躍台ノーマルヒル



「2050年ゼロカーボンシティ」の実現を目指していきます。また、太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の設置を規制する区域を盛り込んだ条例の制定を検討していきます。

▼市清掃センターなどの管理運営

長期包括的民間委託方式により、10年度まで引き続き民間事業者に委託していきます。併せて、将来にわたり持続可能な適正処理を確保するため、ごみの広域処理を協議、検討していきます。

▼再生可能エネルギー

「地熱発電のふるさと八幡平市」と

5 ふれあいを大切に 人情あふれるまちづくり

して、地熱発電を中心としたエネルギーの地産地消と地域経済循環に向けて、地域新電力会社の設立を検討していきます。

▼コミュニティセンター

地域活動や地域住民の交流の場として、地域と行政が相互に協力・協調する協働のまちづくりの推進に努めていきます。



安比高原駅正面の丁字路から見たハロウィンターナショナルスクール(4年3月8日)



3年度に更新した除雪車両。引き続き計画的に車両を更新し、市民の冬季間の暮らしを支える

令和4年度の予算は、
次号の広報で紹介します。